



過酷な暑さもようやく落ち着き、いよいよ少しだけ秋の気配が感じられるようになってまいりました。3号にわたって、夏休み中の校外活動を御紹介しました。今回は、夏休み中の各種進路行事のアンケートを抜粋してお伝えします。また、9月1日に行った卒業生講話の振り返りも。時間が経っていてNewsではないのですが、紹介したいコメントがたくさんあるので、どうぞ

限界に挑戦！（夏休み勉強会／高校2年・高校3年）

予備校講師を  
招いた

「勉強会に参加してみて、どのような感想を持ちましたか？」の自由記述欄には、参加者の率直な声が多く寄せられており、全体として非常にポジティブな傾向が見られました。「学ぶことの楽しさ」や「新しい体験」に重きを置く傾向があります。勉強会が“刺激的なイベント”として機能している印象です。

### 【満足度・有意義さ】

- 来年も参加したいほど有意義な時間だった。
- 勉強会に参加して、勉強の大切さを改めて感じた。
- とても有意義な時間を過ごすことができた。

### 【モチベーションの向上】

- モチベーションが上がってるうちにちゃんと勉強したい。
- 勉強しなきゃという気持ちになった。
- もっと勉強したくなった。

### 【授業の質・講師への高評価】

- 代ゼミの先生の話聞くことができ、勉強になったし面白くて良い経験になったし参加してよかったと思った。
- 普段の授業ではできない経験ばかりで、受ける前は長い時間集中できるか不安だったけれど、凄く楽しかった。
- 先生の話が面白くて、勉強に対する考え方が変わった。

### 【時間の長さ】

- 90分2コマは長すぎると思ったけど、内容が濃くてあっという間だった。
- 長かったけど楽しかった。
- 1日勉強会って聞いた時は少しマイナスな気持ちになってしまったけど、やってみてタメになるようなことが多かったから参加して良かった。

2年



受験が目前に迫っている3年生は、参加者のリアルな声が多角的に読み取れます。勉強会を“戦略的な学習機会”として捉えており、自己分析や課題発見、今後の学習計画への反映など、より実践的・目的志向のコメントが多く見られます。

### 【学力向上の実感・課題発見】

- 自分の今の勉強では何が足りてないか、何をすべきかを理解できた。これからは繋げていきたい。
- ただ知識を詰め込むのではなく根本の理解や構造の理解も大切だと感じた。
- 本当にためになったので次の模試で実行してみようと思いました。
- 共通の問題の傾向などを知ることができたのでコツが理解できた。
- 内容や解説、解き方が詳しく説明していただき、わかりやすくてためになった。

### 【普段の授業との違い・新鮮さ】

- 普段の授業で聞けないような勉強の仕方や教科の知識について知ることができた。
- この勉強会に参加していない人は得られない情報を得ることができて嬉しい。
- 意外な落とし穴や授業でやらない重要なところが知れたため、参加して良かった。

### 【夏休み・今後の学習への意識】

- 夏休みに向けての気合いも入った気がして、夏休みの勉強が少し楽しみになった。
- 自分がこんなに長時間集中して勉強できることがわかったので、これからの夏休みの勉強方法をしっかり考えようと思った。
- 勉強習慣を夏休み前につけることができた。

### 【達成感・自己肯定感】

- 長かったけど達成感があってよかった。やりきってよかった。
- 勉強することはとても頭を使うけどすごく頑張ったって、達成感ができた。
- 今までで一番集中して勉強することができた。これからもちゃんと勉強したい。
- 思ったよりも自分自身と向き合う時間だったなと思いました。
- 勉強っておもしろい。

3年



本校独自の取組「シニアティーチャー」の校外版。金岡中学校に赴いて、学習をサポートしました。コメントは、中学生への学習支援を通じて得られた高校生側の気づきや成長をよく表しています。

【教えることの難しさと学び】

- ◆ 自分が理解できている内容をどのようにして分かりやすく教えるのが難しいと改めて感じました。
- ◆ 『自分がわかっていること』と『人に伝えること』は全く別物だと気づきました。
- ◆ 自分では理解できている、それを相手に伝えるように説明するのが難しかった。
- ◆ 英語の単語の質問が多く…もっと知識や理屈を理解して教えられる論理的な思考を心がけたいです。

【教えることの楽しさと達成感】

- ◆ 人に勉強を教えるのは意外に楽しかったです。
- ◆ 教えている子がだんだんと問題を解けていくところを見て、教えることの楽しさを感じた。
- ◆ 学習の手伝いが少しでもできたという実感を持つことができたので良い経験でした。

【コミュニケーション・関係構築】

- ◆ 自分は誰に勉強を教えてあげればいいのか最初戸惑いました。
- ◆ 人によって分かるところやわからないところがさまざまで…教える子の性格も考えながら教えることができてすごく楽しかったです！
- ◆ 気軽に質問できる雰囲気作りもできたと思う。

【自己理解・学習の振り返り】

- ◆ 自分の中でどのような順序立てに基づき解いているかわかった。
- ◆ 今までの中学の内容を振り返ることができ、とても楽しかった。
- ◆ 中学生がどんなところでつまづいているのか…自分がわかりやすく教えられているかを再確認できた。
- ◆ 先生方は普段からこのような自分にとって『当たり前なこと』がわからない私たちに教えてくださっていることを改めて意識し…日々の授業をより大切にしていきたいと感じました。



卒業生の生き方から学ぶ (自尊感情向上プログラム/中・高)

第2号で紹介した、インドで和食店を営む卒業生の後藤理恵さん。9月1日始業式の日にお招きして講話をいただきました。タイトルは「インドに暮らす、日本に暮らす」。生徒の振り返りから、多くの学びが見えます。



Q1. 講演で印象に残ったことは何ですか？

- 一期一会の意味を改めて知り、今を大切にしようと思いました。
- チャレンジすることは怖くないという言葉に勇気をもらいました。
- インドのカースト制度について授業とは違う視点を知れて驚きました。
- 失敗は財産になるという考え方が印象的でした。
- 日本とインドの文化の違いを知り、世界に興味が高まりました。

Q2. 講演によって、自分の考え方や行動に変化がありそうですか？  
どんな変化がありそうですか？

- 失敗するならチャレンジしてからという言葉がとても響きました。
- 過去を引きずるのはやめて、今を大切にしたいと思いました。
- 人との出会いをもっと大切にしたいと思いました。
- 世界は広いけど近い。怖がらずに一步踏み出したい。
- 自分の好奇心を信じて、行動してみたいと思いました。

後藤さんの生き方や考え方に強く感銘を受け、自分の将来や価値観を見つめ直すきっかけとなったようです。特に生徒の印象に残ったのは「一期一会の大切さ」「挑戦することの意義」「インド文化への驚きと興味」の3つです。後藤さんの言葉から、日々の出会いや今この瞬間の価値を改めて考えるようになり、「まずはやってみる」「失敗は財産」という前向きな姿勢を持つようになりました。また、インドの文化や価値観に触れたことで、世界への関心が高まり、「日本と世界の違いをもっと知りたい」「ボーダレスな生き方に憧れる」といった声も聞かれました。生徒の感想からは、「今を大切にしたいと思った」「人との出会いをもっと大切にしたい」など、自分自身の考え方や行動に前向きな変化があったことがうかがえます。生徒一人ひとりが自分の未来と向き合うきっかけとなりました。「自分の道は自分で切り開ける」という後藤さんの力強いメッセージは、多くの生徒の心に残ったことでしょう。